

## 県内初の複数年契約を締結

JAは、管内の生産者団体「いちのせき米クラブ」、大阪市の米卸業者「津田物産」、JA全農いわての4者による買い取りの複数年契約を結びました。生産、流通、販売が一体となり複数年契約を締結するのは県内で初めてです。



契約合意式を3月7日、盛岡市のホテルメトロポリタンで開催。各団体の代表者4人が合意書に署名し3年の買い取り契約を結びました。今年生産する「ひとめぼれ」およそ110トンを津田物産が買い取り、関西を中心に販売する予定で、来年、そして再来年と取引数量がさらに増える内容となっています。JAの菅原英幸常務理事は「複数年契約を結ぶことで生産者は自分たちの米の販売先が明確になり、安心して水稻生産に専念できる。今後も生産者や卸売業者、関係機関で協議を行い複数年契約を増やしていきたい」と力を込めました。

